

2021年3月22日



一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

## 2021年2月 マンスリーレポート

集計企業数 55 社

## ①売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	55,566,221 万円	100.0%	99.8% (105.6%)	54,215,007 万円	98.7% (104.3%)
食 料 品	48,808,864 万円	87.8% (86.6%)	101.2% (107.9%)	47,568,575 万円	100.1% (106.4%)
農 産	7,283,405 万円	13.1% (13.1%)	105.0% (110.1%)	7,099,661 万円	103.7% (108.7%)
水 産	4,553,909 万円	8.2% (8.5%)	104.6% (106.5%)	4,432,206 万円	103.3% (104.9%)
畜 産	6,318,260 万円	11.4% (11.8%)	102.0% (111.1%)	6,150,959 万円	100.7% (109.5%)
惣 菜	5,863,901 万円	10.6% (9.9%)	102.4% (101.0%)	5,695,778 万円	100.9% (99.3%)
日配食品	10,757,088 万円	19.4% (19.2%)	99.6% (107.8%)	10,495,134 万円	98.5% (106.4%)
加工食品	14,032,299 万円	25.3% (24.2%)	98.9% (108.7%)	13,694,837 万円	97.9% (107.5%)
生活関連	3,124,764 万円	5.6% (6.0%)	89.8% (102.5%)	3,064,539 万円	89.3% (101.7%)
衣 料 品	913,346 万円	1.6% (2.1%)	81.7% (83.1%)	908,138 万円	82.6% (83.3%)
そ の 他	2,719,248 万円	4.9% (5.2%)	94.0% (87.6%)	2,673,755 万円	94.0% (87.5%)

## ② 数 値

全店総売上高	55,566,221 万円	店舗数	4,841 店舗
総売場面積	9,487,632.5 m <sup>2</sup>	総従業員数	264,976 人
店舗平均月商	11,478.3 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,058.2円 (105.8%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	5.9 万円 (6.3万円)	平均売場面積	1,959.8 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	19.4 万円 (21.0万円)	パート比率(前月)	76.9% (77.5%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 2月の天候概要について、気温は全国的に高く、東日本と西日本でかなり高かった。降水量は、北日本の日本海側でかなり多く、日照時間は、東日本の太平洋側、西日本の日本海側と沖縄・奄美で記録的に多くなった
- ・ 生鮮物の相場状況について、農産物では、野菜は土物を中心にやや高値で推移し、果物は前年並みで推移した。水産物は前年に比べてやや弱含み、畜産物では豚肉と鶏肉が高値であった
- ・ 前年が閏年であったことから月の日数が1日少なく、土曜日が1回少ない曜日廻りであった
- ・ 新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は下げ止まり、栃木県を除く10都府県では緊急事態宣言が3月7日まで延長となり、県独自の飲食店時短要請は、延長するところと上旬で終了するところに分かれた。また、一部医療機関の医療従事者を対象としたワクチン接種が開始された

## 《 商品動向 》

### ○農産

- ・ 家庭内調理機会増加もあり、カットサラダやカット野菜などの簡便商材が好調であった
- ・ ジャガイモをはじめとした土物類は、相場高から単価が上がり好調であった
- ・ 相場安から点数が伸びブロッコリーが好調であった
- ・ 国内果物では、入荷が多いなどで販促強化できたイチゴや、貯蔵状態が良く食味の安定したミカンが好調であった。輸入果物では、月後半の気温高もあり、バナナが好調であった

### ○水産

- ・ マグロをはじめとした刺身・刺身材料が好調であった
- ・ ブリは切身、刺身ともに好調であった
- ・ カキやエビ、ウナギが好調であった
- ・ 来店頻度減少のために保存がきく冷凍魚が好調であったほか、家飲み需要もあり珍味が好調であった
- ・ 塩鮭をはじめとした塩干が不調であった

### ○畜産

- ・ 緊急事態宣言による巣ごもり需要もあり、牛焼肉用やステーキ用が好調であった
- ・ 国産の豚肉は相場高もあり好不調が分かれた
- ・ 低単価で手ごろなことから鶏肉や挽肉が好調であった

### ○惣菜

- ・ 弁当や寿司などの米飯類が好調であった
- ・ 天ぷらやスナックなどの揚げ物は好不調が分かれた

### ○日配食品、加工食品

- ・ ストック需要もあった冷凍食品が好調であったほか、アイスクリームやチルドデザートが好調であった
- ・ キムチを中心に漬物が好調であった一方、納豆は昨年好調の反動などもあり不調であった
- ・ ヨーグルトや乳酸菌飲料は、インフルエンザの流行がないこともあり不調であった
- ・ 緊急事態宣言再発令により、パスタ類や即席めん類、スナック類や酒類が好調であった
- ・ 昨年好調の瓶詰・缶詰などは、反動で不調であるとのコメントが見られた

### ○節分の動向について

- ・ 本年は124年ぶりに2月2日に節分を迎えた
- ・ 恵方巻は予約販売・当日販売ともに内食需要もあり、高単価の海鮮巻きや-halfサイズのセットなどを中心に好調であった
- ・ 当日販売では、コロナ禍の内食需要を見越し前年越えの販売計画をしたものの夕方には品切れ店舗が発生したとのコメントが見られた
- ・ 予約販売が好調で、当日販売も早期の売り切れが発生したことから、食品ロス削減に貢献したとのコメントが見られた
- ・ 福豆は鬼退治の人気キャラクター効果もあり好調であった

### ○バレンタインの動向について

- ・ バレンタイン当日が日曜日だったことに加え、在宅勤務の増加や外出自粛により義理チョコ需要は減少し、手作り商材は不調であった
- ・ 銘店のチョコレートや高単価品のチョコレートは概ね好調であった